



一歩いっぽ

No.6

平成30年2月発行

発行：稚内市民生児童委員
連絡協議会
責任者：池田昭良
編集：広報委員会

就任のご挨拶



稚内市民生児童委員連絡協議会
理事長 池田昭良

稚内市民生児童委員連絡協議会 理事長 石田一由氏が平成29年12月14日を以て理事長職を退任されました。後任理事長として私、池田が理事会の承認を得まして、平成30年1月18日付けで就任することとなりました。もとより微力ではございますが、稚内市の地域福祉の発展のため努力いたす所存でございますので、何卒格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は民生委員制度創設百周年の記念すべき年であり、全国、北海道、宗谷地方において記念式典が挙行されました。7月9日、東京にて天皇皇后両陛下のご臨席を賜り「全国民生委員児童委員大会」。6月13日、札幌にて「北海道民生委員児童委員大会」。9月30日、稚内支部、宗谷支部と合同で「宗谷地方大会」を稚内市内で開催され、目的を共にする大勢の委員が百年の足跡を祝いました。各々永年の活動が評価され受賞致しました皆さまにおかれましては、誠におめでとございます。これからも委員活動に活躍され、地域福祉の発展に寄与頂きたいと思っております。

民生委員制度は岡山県の済世顧問制度を源に百年、我が国の社会は大きく変化を遂げて参りました。その中に在っても無報酬の奉仕者である方面委員、民生委員は、それぞれの時代において大きな役割を果たし今日に至りました。そしてそれを可能としたのは、数え切れない先達の思いや使命感、様々な困難に立ち向かう熱い情熱があったからこそと云えます。同時に民生委員の側だけでなく、社会そのものが委員制度を必要としてきたからとも思います。

民生委員が果たしてきた役割は、①常に地域住民の身近な相談相手であり見守り役であること。②行政の協力者として福祉制度を機能させる繋ぎ役であること。③社協や共同募金など民間福祉活動の推進者であること。④住民や地域課題の住民の代弁者としてあること。⑤日常的な福祉課題の解決に取り組んできたことでもあります。

地域に住む者として住民に寄り添い、住民目線に立った活動を続け、住民に信頼され地域に安心感を与える存在になれるよう自己研鑽に励み、住み良い稚内の街づくりを目指し民生児童委員全体で活動して参りたいと思っております。

全国民生委員児童委員大会

平成29年7月9日、10日の両日、民生委員制度創設100周年記念全国民生委員児童委員大会が開催され、全国から1万人【北海道から223名(内、稚内市から6名)】の民生委員児童委員が集いました。

第1日は東京ビックサイトを会場に天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、記念式典が執り行われ、これからの民生委員児童委員活動に関する新たなスローガンが決定されました。

新スローガン『支えあう 住みよい社会 地域から』

記念講演では「あたたかい社会をつくる」と題して、諏訪中央病院名誉院長である鎌田實氏の貴重な体験談が発表されました。

第2日は都内5会場に分かれてテーマ別のシンポジウムが開催され、併せて、東京国際フォーラムにおいては各都道府県・指定都市を代表とした民児協の活動紹介を行う小規模発表集会、さらに特別企画として民生委員児童委員活動PR映像展、活動紹介パネル展が行われました。



会場の東京ビッグサイト



式典会場に御到着された天皇皇后両陛下



式典第1部の様子

北海道民生委員児童委員大会

平成29年6月13日、14日さっぽろ芸術文化の館・ニトリ文化ホールにて、民生委員制度創設100周年記念北海道民生委員児童委員大会が開催されました。

高橋知事ご臨席のもと、永年にわたり活動された民生委員児童委員(1,317名)に各感謝状が贈呈され、全道の受賞者を代表して稚内市民生児童委員連絡協議会石田前理事長が謝辞を述べました。

アトラクションでは北海道警察音楽隊による「一世紀を経てこれからのエール」として、演奏と演舞が披露されました。

2日目の記念講演では、女優の倍賞千恵子さんによる「歌うこと、演じること、そして生きること」と題したお話を聞きました。

記念アトラクションは、民謡歌手である伊藤多喜雄さんのライブステージがあり、笑いあり、感動ありの一幕となりました。



高橋知事のご挨拶



表彰の一幕



石田前理事長の謝辞